

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中小学校	対象となる主な学年	6 学年
取組事例名	「PL(project leader)の取組について」～1年生に喜んでもらえるロングタイム昼休憩を实行しよう～		

◆ 児童の実態及び取組を通して育てたい児童像	
児童の実態	取組を通して育てたい児童像
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に落ち着いている。</li> <li>・男女関係なく、クラスを超えて、仲が良い。</li> <li>・活動への声かけをすると素直に取組み、努力をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PLの取組を進めていく中で、各PLで計画を立て、実践、振り返りをしていき、個人同士や個人と集団など人と関わる力の育成</li> <li>・取組を実践していくために今できることを考え、自己決定を行い、自分の考え表現する力の育成</li> </ul>



◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・学年行事ごとに実行委員を設定し、児童自ら企画・運営することで、互いを理解し、相手の立場や心情を考えて協力する意識を高める。</li> </ul>

取組の流れ・創意工夫・児童の変容等

6年生では1学期から遠足、運動会、修学旅行、学習発表会、掲示、人権の花のお世話、卒業文集、志の学習での司会など実行委員(PL)が中心となり、行事に取り組んでいる。その取組の中の1つが「1年生に喜んでもらえるロングタイム昼休憩を实行しよう」である。

ロングタイム昼休憩とは、外遊びを通して、体を動かす楽しさを味わわせるため、学期に1回、学年の掃除を無しにして20分間の昼休憩を通常の昼休憩にプラスして設定している。2学期はペア学年で実施した。

- 〈導入〉
- ① 「1年生に喜んでもらえるロングタイム昼休憩を实行しよう」のPLの取組について各学級で児童に説明をした。
  - ② 立候補制で児童からPLのメンバーを募集した。
  - ③ 担当教員がPLのメンバーに取組の流れの説明を行い、児童に見通しをもたせた。

- 〈計画・準備〉
- ① PLのメンバーが当日までの計画を立て、自発的に集まり、当日に向けての準備を進めていった。
  - ② 「1年生が楽しむことができるように」を意識しながら、6年児童は遊びを考えることができた。

- 〈実施〉
- ① はじめの会
  - ② 全体で「猛獣狩りに行こうよ」  
グループになる時に1年生と6年生でグループを作るなどルールを工夫した。【1年と6年児童間の絆づくり】
  - ③ グループでの遊び：ハンカチ落とし、転がしドッジボール、鬼ごっこ、じゃんけん列車など



〈振り返り〉

- ・6年生が1年生とのロングタイム昼休憩の交流についての振り返りでは、1年生に喜んでもらえることができた充実感を感じることができていた。【自己有用感の感受】

◆ 成果(○)と課題及び今後に向けて(●)

- PLの活動に責任をもち、やり抜く児童が増えてきた。
- ゴールをイメージしながら、見通しをもち、児童が主体的に活動を進めることができた。
- 児童アンケート「自分の学級は、仲間と安心して過ごすことができる。」の肯定的回答(5月96.9%⇒12月97.7%)「学校の中で自分が認められる場がある。」の肯定的回答(5月93.8%⇒12月93.3%)であった。
- 児童から、取組をより盛り上げていくためのアイディアはなかなか出なかった。
- 短時間での取組だったため、1年生と6年生での振り返りを行うことができなかった。
- 6年生だけではなく、4年生・5年生の児童も段階的に実行委員を立てた取組を行っていけるようにしていく。
- ペア学年のロングタイム昼休憩の時間を今年度の20分間より長くとると時間に余裕ができる。
- 教員の担当を1人だけではなく、正副の2人体制にしていくと負担が軽減できる。